岩代中学校だより

いわしろ PRIDE

岩代中学校
第４号
令和４年６月１４日
校長　遠藤（えんどう）　康成（やすなり）

おおらかに　たくましく　ひかりかがやく岩中生　～日山のごとく、大杉のごとくあれ～

「部活動を語る会」

６月１０日（金）
放課後@体育館

運動部にとって目標としていた支部中体が終わりました。文化部も含めて、３年生の多くが部活動を引退する時期となりました。さらに、１、２年生にとっては、新しいチームの活動がスタートします。

あなたは今、これまでの部活動を振り返ってどんなことを感じていますか？

この節目に立っているあなたにとって、「これまでの部活動から自分はどんなことを学んできたのか」を「振り返る」ことには、大きな意味があると考えています。

「振り返る」ということは、「自分自身に矢印を向ける」ということです。「自分の心を見つめ、自分が経験してきたことの意味を問い直す」ことは、これからの人生に必ず生きると考えています。

３年生の皆さん。これまでの部活動では、いいことばかりではなかったはずです。「つらいとき」「苦しいとき」「悩んだとき」「落ち込んだとき」があったはずです。もしかしたら、今、苦しさやつらさを感じている人がいるかもしれません。

一つだけ確かなことがあります。

「つらいこと」「苦しいこと」「思い通りに行かずに悩むこと」･･･実は、そういうときに人間は成長します。

言い換えると、つらいこと、苦しいことをくぐり抜けることによって自分が磨かれていくということになります。

そんなふうに過去の自分をとらえることが「これからの生活に生かす」ということの本質です。

これからの人生において、いくつもの壁が立ちはだかります。いつでも正しい答えを示してくれる人が近くにいるとは限りません。複雑で、解決が難しい場面に直面したときに、誠実に問題に向き合い、粘り強く解決する力を養う機会が「部活動」であったのです。

今日は、３年生が「部活動を語る会」を開いてくれます。

３年生は、自分の思いを語ってくだい。言葉につまってもかまいません。言いよどんでもかまいません。自分の心の中にあるものを、素直に表現して欲しいと思います。

１・２年生の皆さん。３年生の姿を目にやきつけてください。あなたたちの１年後、２年後の姿を３年生に重ね合わせてください。

この節目をしっかり通過することで、皆さんの生きる力が一歩高まると信じています。

【全校集会での校長のことば】

【3年生のことばより】

1年生の時はなかなかコミュニケーションがとれず、練習もうまくいかないときがあった。3年生になり結果がでるようになり練習してきてよかったなと思えるようになった。仲間に感謝・・・。

自分は人と話すことが苦手ではじめはうまくいかないことが多かった。先生や先輩に丁寧に教えてもらい少しずつできるようになった。これからは自分に自信をもって取り組む・・・。

制限が多かったが、その分仲間と一緒にいる時間が長かった。最後の中体連は2勝。仲間と作戦を立て最後まであきらめず試合に臨めた。3年間の部活をこれからの受験に生かす・・・。

中学校に入ってからコロナ禍で、中止や制限が続いた。その中で先輩に多くのことを教わった。3年生は引退となるが、1・2年生を応援している・・・。

部活動から学んだことは3つ。
「自分をどうアピールするか」
「先生、親、仲間に感謝」
「自分から積極的に行動」
3年間で競技の面白さを感じた。

楽しかったこと悔しかったことがたくさんある。後輩ができ先輩としてやっていけるか不安な時期もあったが、今はやり遂げられたと思っている。悔しいことを生かすことはとても大事・・・。

3年間で努力することの大切さを学んだ。苦しいときがたくさんあったが楽しくやれたと思っている。1、2年生へ。向上心をもってこれからの部活動をがんばってほしい・・・。

入部した頃は続けられるか心配だった。先輩のアドバイスのお陰で技術が上達した。コロナ禍であっても楽しく活動できた。引退までもう少し。仲間と協力して頑張る・・・。

合同チームで他校から学ぶことが多かった。3年生としては短い期間だったが後輩と頑張れた。「感謝」、これが私が部活動から学んだこと・・・。

部長として、人をまとめる大変さを実感した。新しいことに挑戦し、部活のチームワークを育てることができたと思っている。毎日こつこつ取り組んだことをこれからに生かす・・・。

私が部長になった理由は、頼りがいのある先輩がいたから。仲間のためになっていたらうれしい。失敗をしても自分の思いを作品に込めて欲しい。仲間で支え合い楽しく、成長してほしい・・・。

小学校から取り組んできた競技。一人で練習をする日々。中学校の部活動で学んだことをこれからに生かしたい。これまでの競技人生で関わってくださった方々に感謝している・・・。

1、2年生は、人数が少なくなるが、練習や大会、特に新人戦では練習の成果を発揮できるように頑張ってほしい。自分は、進路に向けてこれからがんばっていく・・・。

岩代中創立２０周年記念事業

『こだま祭』の名称は、当時の文化祭実行委員が全校生徒から募集した中から決めたものです。何もかもが「第１回」で、様々な行事を自分たちの手で創り上げてきました。『初めて』は、困難もあり、エネルギーを使う大変なことですが、だからこそ一生懸命になることができました。そして、その中で仲間とつながることができたのではないかと思います・・・。【平成１５年度 岩代中学校初代生徒会長のことばより】

本年度、岩代中学校は創立２０年となる記念の年を迎えました。「新殿中学校」と「旭中学校」が統合し「岩代町立岩代中学校」が誕生したのは、平成１５年４月のことです。

統合した当時の生徒の手記からは、新しい制服に身を包み、新たな仲間と出会うワクワクする気持ちと、新たな仲間との生活への不安が入り交じった複雑な思いを読み取ることができます。そして、大きな変化を乗り越えたたくましい先輩方の存在を強く感じます。

６月９日（木）には、「ＰＴＡ本部役員」と「同窓会役員」による「岩代中学校創立２０周年記念事業実行委員会」を発足し、組織、予算、準備計画などを確認しました。

◆実行委員長　遠藤　広次さん（ＰＴＡ会長）
◆実行副委員長　菅野　正信さん（同窓会長）

１０月１５日（土）こだま祭での「記念講演」、そして「創立２０周年記念誌」の作成に向けて準備を進めて参ります。